

第3回 日ASEAN 女性・平和・安全保障 (WPS) 協力プロジェクトの主催

令和8年9月15日～17日、防衛省は「第3回 日ASEAN 女性・平和・安全保障(WPS) 協力プロジェクト」を主催しました。本プロジェクトには、ASEAN諸国(ミャンマーを除く。カンボジア、東ティモールは不参加。)に加えて、フィジー、パプアニューギニア、トンガ、ケニア、モンゴル、イエメン及びEUの防衛当局等に所属するWPS実務者及び人道支援・災害救援(HA/DR)実務者計23名並びに、米国笹川平和財団やニュージーランド軍からWPS専門家が参加しました。

今年度のプロジェクトにおいては、「津波・洪水をはじめとする災害時におけるHA/DR分野におけるWPSの取組」をテーマとし、部外専門家による講義、防衛省・自衛隊、各国参加者による災害派遣活動等におけるWPSに係る発表及び航空自衛隊の航空支援集団や宇宙作戦団での研修を実施しました。特に、今回のプログラムにおいては、過去2年間の成果を踏まえてテーマに基づいた机上演習を行うなど、3年目の事業の集大成として、より実践的なWPSの取組を演練しました。本プロジェクトの実施により、参加者のHA/DRにおけるWPSに関する認知向上及び理解の深化を図るとともに、インド太平洋地域のWPS実務者間のネットワークの拡大と課題解決に繋げるプラットフォームのさらなる強化に貢献しました。

防衛省・自衛隊は、引き続き、ASEAN諸国等と共にインド太平洋地域全体におけるWPS推進を強力に進め、国際平和と安定に貢献します。

プロジェクトの様子



